

作成したコマンドを実行可能にする

前章にて作成したLISPプログラム、コマンド「ADD」を実行可能にするには、コマンドのLISPファイルが、AutoCAD アプリケーションのメモリ上にロードされる必要があります。

これには、いろいろな方法がありますが、以降、筆者が普段使用している一番簡単？と思われる方法を説明します。

■ acaddoc.lsp を使用してコマンドを実行可能にする

AutoCAD には図面を開いたときに検索してその内容をメモリロードするファイルがありますが、その中に「acaddoc.lsp」というものがあります。

この「acaddoc.lsp」は図面が開かれるタイミングで、「サポートファイルの検索パス」に設定されているフォルダ内から検索され自動的に実行されます。したがって、作成したコマンドを実行可能にするためには、以下を行えばよいことになります。

- ① 「acaddoc.lsp」に、「ADD」コマンドのLISPファイル「ADD.lsp」をロードするための **load関数** を記述する
- ② 適当な（適切な）フォルダに「acaddoc.lsp」を格納する。
- ③ 同一のフォルダに「ADD.lsp」を格納するフォルダを作成し「ADD.lsp」を格納する。
- ④ 「サポートファイルの検索パス」に、上記フォルダを設定する
- ⑤ もう一つ、忘れてはいけないのが、「信頼できる場所」の設定が必要です。
ここには、ロードするプログラムファイルが格納されているフォルダを設定する必要があります。
※ 指定しなくても、ロード時に確認メッセージがでるだけなのですが、設定しておいたほうがよいでしょう。

※ 「サポートファイルの検索パス」「信頼できる場所」は、コマンドラインに op と入力し表示させた「オプション」ダイアログの「ファイル」タブから設定できます。

■ 具体例

ユーザーフォルダの直下に「AutoCAD_CustomCommands」というフォルダを作成、その中に「acaddoc.lsp」ファイルと「ADD」フォルダを作成、「ADD」フォルダに「ADD.lsp」を格納します。

```
C:¥Users¥ユーザー名¥AutoCAD_CustomCommands
```

```
AutoCAD_CustomCommands
|
| acaddoc.lsp
|
|— ADD
   ADD.lsp
```

「acaddoc.lsp」の記述は下記のようにします。

```
(load "ADD/ADD.lsp")
```

“ ”で囲んだ部分で、LISPファイルを指定しますが、「acaddoc.lsp」が置かれている場所からの相対パスにて記述することができます。また、拡張子「.lsp」は省略可能なようです。

あとは、AutoCADの「オプション」ダイアグラム－「ファイル」タブにて、「サポートファイルの検索パス」に「C:¥Users¥ユーザー名¥AutoCAD_CustomCommands」を「信頼できる場所」に「C:¥Users¥ユーザー名¥AutoCAD_CustomCommands¥...」を設定して終わりです。

※ 「¥...」は、下層フォルダをすべて含む場合に使用します。

以上で、コマンドラインに **ADD** と入力することで、作成したADDコマンドが実行可能になります。

```

(Defun C:ADD ( / Ans Texts TextLen TextIdx TextEntName TextProperties Text Num)
;
(setvar "CMDECHO" 0)
;
(setq Texts (ssget "_I" ' ((0 . "TEXT"))))
(if
  (null Texts)
  (setq Texts (ssget ' ((0 . "TEXT"))))
);if
;
(if
  Texts
  ;
  (progn
    (setq Ans 0)
    (setq TextLen (sslenght Texts))
    (setq TextIdx 0)
    (repeat TextLen
      (setq TextEntName (ssname Texts TextIdx))
      (setq TextProperties (entget TextEntName))
      (setq Text (cdr (assoc 1 TextProperties)))
      (setq Num (atof Text))
      (setq Ans (+ Ans Num))
      (setq TextIdx (1+ TextIdx))
    );repeat
  );progn
;
  (princ "\n選択した図形の中にテキストが含まれていませんでした")
;
);if
;
(setvar "CMDECHO" 1)
;
(if
  Ans
  Ans
  (princ)
);if
;
)

```